

CSR調達ガイドライン

サプライチェーン全体で持続可能な社会の発展を支え、SDGsの達成に貢献するため、CSR調達ガイドラインを制定しました。

取引先様には、CSR調達ガイドラインをご理解いただき、取り組みへのご協力をお願いしています

取引にあたっては、経営・品質・価格・納期・サービス、技術開発力などに加え、CSR調達ガイドラインへの対応を考慮します。

また、CSRへの取り組み状況をモニタリングする為、アンケートを実施させて頂き、調査の結果、課題のある取引先様については改善を依頼させていただきます。

1. CSRを推進し、社会貢献に積極的に取り組むこと

- ・ステークホルダーを尊重し、健全で持続可能な社会づくりに貢献すること
- ・社会貢献や地域活動(環境維持や改善)に積極的に取り組むこと

2. コンプライアンス(法令順守など)、公正取引・企業倫理を維持・強化すること

- ・企業活動において社会規範に反することなく、公正・公平に業務遂行すること
- ・法令などを順守すること(独禁法、商法、会社法、下請法、個人情報保護法、外為法など)
- ・あらゆる利害関係者への腐敗行為・贈収賄を禁止すること
- ・(違法な贈与、支払、対価、金銭的または金銭以外の利益供与など)
- ・反社会的な個人、団体とは関わりをもたないこと
- ・不正行為の予防と発見のための措置を行うこと

3. 環境活動を維持・強化すること

- ・継続的な環境保全活動を推進すること(ISO14001取得など)
- ・水やエネルギーの利用における効率向上など、資源の有効活用や省エネに努めること
- ・大気、水、土壌への汚染物質の排出を抑制すること
- ・廃棄物について3Rを促進すること(リデュース:廃棄物の発生抑制、リユース:再使用、リサイクル:再資源化)
- ・グリーン調達、グリーン購入を推進し、環境負荷低減に努めること
- ・温室効果ガス(CO2など)の排出削減に努め、気候変動の緩和に取り組むこと
- ・自然保護など生物多様性保全のための取り組みを推進すること

4. 製品の安定供給に努め、品質、製品安全を保証すること

- ・品質保証活動を推進し、継続的に改善を行うこと(ISO9001取得など)
- ・法令順守と共に想定されるリスクの低減に努め、製品安全を確保すること
- ・非常時に起こりうる状況や事象を事前に想定し、事業継続計画(BCP:Business Continuity Plan)を整備すること

5. 人権を尊重すること

- ・児童労働、強制労働、虐待、人身売買など非人道的行為を禁止すること
- ・性別、国籍、人種、信条、年齢、障がいの有無、LGBTQなど、あらゆる差別を禁止すること
- ・個人の尊厳を傷つけるハラスメント(セクシャルハラスメント、パワーハラスメントなど)を防止すること
- ・外国人技能実習生を含む外国人労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を整備すること
- ・紛争鉱物規制に対し、責任ある調達を推進すること
- ・労働安全衛生について、活動を展開する国や地域の法令を順守すると共に、従業員の健康を留意し、健康経営への取り組みも通じて、安全で働きやすい職場の実現に努めること
- ・労働時間に関し、活動を展開する国や地域の法令に従い、過度な労働時間について削減に取り組むこと
- ・賃金について、活動を展開する国や地域の法令に従い、最低賃金を超える適切な賃金を支払うこと
- ・労働者の結社の自由に関し、活動を展開する国や地域の法令に従い、権利を支持・尊重すること
- ・労働者の団体交渉権などに関し、活動を展開する国や地域の法令に従い、権利を支持・尊重すること
- ・動物実験などについて、動物福祉に配慮すること

6. ステークホルダーに適時適切に情報を開示・対話するとともに、情報セキュリティ対策を維持・強化すること

- ・製品やサービスに関する情報、会社の財務情報・非財務情報、リスク情報などを適時開示すること
- ・機密情報、個人情報などは適切に管理し、情報の漏洩や紛失の防止に努めること
- ・他者の知的財産権を尊重し、不当に侵害しないように関連法令・規則などの順守を徹底すること
- ・相談窓口の設置など、社内外からの苦情や問題を解決する仕組みを整備するとともに、報告者や相談者の保護に努めること
- ・サプライチェーンを通じてCSR調達を実現するため、サプライヤーへCSR活動推進を周知・浸透すること

